



電気料金値上げ 合理性はない

原発の固定費と 新投資も料金に加算

3月7日、県議会代表質問に塚地県議が立ち四国電力

が7月から家庭11%弱、企業18%弱もの値上げ計画を認めるべきでないかと質問。

値上げ分には、耐用年数30年を過ぎ、当面発電できない伊方1,2号機の固定費が含まれているのではないかと。そして、それに加え、老朽化原子炉を稼働させるための新投資440億円を含め、原発関係に642億円分も料金に上乗せしている。電力は足りている。原発を廃炉する方向を示し、料金に加算すべきでないかと、ただ

しました。

知事は「値上げの原価には、1,2号機の固定費が含まれている。廃炉にすれば、引き下げの要素になる。」しかし、「廃炉するための費用(引当金)が不足し、経営を圧迫する可能性もあり、判断が難しい」旨、答弁しました。

今回の料金値上げは、原発に固執していることによって引き起こされていることが明らかになりました。当面は、火力発電を効率のよいコンバインドサイクル発電に転換し、値上げはやめるべきです。

無料 法律相談

3月28日(木)午後6時~8時

弁護士 山本尚吾さん

場所 吉良富彦事務所(愛宕商店街)

TEL 855-9439



オンライン
にゃんでも通信

エネルギー
ギーク
政策転
換をと
皆さん
とパシ
ードし
ました。



●10日、原発ゼロ高知集會に県議団で参加、原発からの脱却、伊方再稼働を許さず

様にお礼申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

終わりました。講師の鐸木よしみつさんは放射線による汚染と、今の福島の人々の暮らしをリアルに報告。社会の転換の必要性を静かに語りました。ご協力くださった本読者の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。



●講演会「裸のフクシマ」3月9日

福島は今を知り
未来に生かそう
と、上智大学OB
会で取り組んで
きた講演会は
一三〇名の参加
で盛会のうちに